

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 12 日

Table with columns for '事務事業名', '事業区分', '担当', '政策体系', '予算科目', and '法令根拠'. It details the '青少年育成問題協議会運営事業' and its classification under various administrative categories.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with two main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. It describes the establishment of the '青少年育成問題協議会' and the role of the committee.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators and trends. It includes rows for '手段' (activities like committee meetings), '対象' (target group like '青少年'), and '意図' (intentions like '情報共有'), with data for years 26-30.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table detailing the flow of input costs (事業費). It breaks down costs into '事業費' (operating costs) and '人件費' (personnel costs) across years 26-30.

事業費の内訳

Table showing the breakdown of operating costs (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, listing items like '報酬' (fees) and '需用費' (supplies).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 fiscal years. It includes a note about recording content by year and a list of main activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	青少年育成問題協議会運営事業	事務事業No.	30303000661	所属課	生涯学習課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 法律に基づき、条例は制定してあったが、委員の委嘱及び委員会が開催していなかった。中学生による放火事件を機に、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の樹立、適切な実施を期する為に、必要な関係行政機関相互の連絡調整及び情報交換を図るために設立した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に現在のところ意見等は寄せられていない。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策について調査及び審議を行い、市や関係行政機関に対し、意見を述べる事により、青少年の健全育成に寄与する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 青少年の健全育成に関しては、行政・市民・警察が今日の青少年の抱える問題に取り組むことは有効な手段である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 青少年の問題に対し、関係行政機関相互の連絡調整を図ることが協議会の所掌事務の1つであるが、現在は委員の情報交換の会議になっている。今後は、団体の目的・方向性を確立していかなければならない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 青少年の健全育成及び少年犯罪の未然防止には各種関係機関団体等の連携を密にする必要があり、情報交換の場は当市には本協議会しかないと考え。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業との統廃合・連携可能性の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 青少年問題協議会は青少年の犯罪防止及び健全育成事業の活動期間ではなく、市の諮問を受けて、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策について調査及び審議する機関であるのでこれ以上の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 青少年の健全育成は全市民に係わる問題で、受益機会、費用負担の余地はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 青少年育成関係機関・団体との連携について方向性を検討したが、青少年の個人情報の取り扱いが難しく、結論がでなかった。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 各種関係機関の情報交換、方策を検討するうえで、問題を抱える青少年のプライバシーの保護が課題であることから、協議会の目的・方向性を確立していくには、関係機関と協議を重ねていくことが必要である。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table>		成果優先度評価結果	-	コスト削減優先度評価結果	-																	
成果優先度評価結果	-																					
コスト削減優先度評価結果	-																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---